

SAKURA KAWARABAN

第20号 2026年3月



さくらのような、地域を創る。

さくら印刷
SAKURA PRINTING Co., Ltd.

✉ sakura@sakura-insatsu.co.jp

☎ 0475-22-3593

〒 297-0035 千葉県茂原市下永吉 399-1

印刷・Web・動画・キャリア教育・コワーキングスペース

企業サイト



公式LINE



早野中学校にて職業学習の 体験授業を行いました！



1月21日(水)に早野中学校で職業についてのセミナーおよびワークショップを行いました。

今回はグラフィックデザインをテーマにとりあげ「自分の名前のロゴづくり」に挑戦してもらいました。まずはデザインがどんな役割を持っているのかを紹介し、その後、自分の好きなものや大切にしていることを書き出し、そこから広げたイメージを形にしていきました。

普段何気なく見ているロゴにも意味や工夫があることを知り、試行錯誤しながら自分らしさを表そうとする姿が印象的でした。デザインを少し身近に感じてもらえる時間になっていけば嬉しいです。

また、将来の進路や、やりたいことを見つげるときに役立つ「Will-Can-Mustのフレームワーク」を紹介しました。

• Will (やりたいこと) : 自分の夢、目標、ワクワクすること。
• Can (できること) : 自分の得意なこと、スキル、持っている能力。
• Must (するべきこと) : 周りから期待されていること、やるべき役割。



大切なのは、この3つの円が重なった真ん中の部分を見つげること。それこそがあなたが一番ハッピーになれる場所なんです！

自分の仕事の状況をチェックするのにも役立ちますので皆さんもやってみてください。

工場内の清掃を 行いました

約1ヶ月間、多くのメンバーと一緒に印刷現場の整理整頓や清掃、紙の仕分けを集中的に行いました。印刷現場は紙の種類が非常に多く、現在使用しているのか、使用していないのかを判断するのが大変でしたが、一つひとつ確認しながら整理を進めました。

きれいになった現状を維持するため、今後は複数人で日々確認を行いながら、整理整頓を継続していきたいと考えています。毎日の積み重ねが大切だと改めて感じています。

また、毎年恒例のペンキ塗りについては、今年は仕事为重なり、作業できる人数が2人しかいない状況でした。それでも前日にしっかりと準備を行い、新しい道具も活用したことで、少人数でも滞りなく進めることができました。予定通り1日で完了することができました。

Before After



COURSE 9号 発行!

今年も高校生に地元千葉県の優良企業を紹介する冊子「キャリア教育メディア COURSE 9号」を刊行いたします。前号から更に磨きをかけた今号についてご紹介!

◆ COURSE (コース) とは?

高校生のキャリア教育(職業感の育成)を推進するガイドブック、それが COURSE です。千葉県内の優良企業に焦点を当て、求人票ではわかりにくい「どんな人が、どんな雰囲気の中で、どんな仕事をしているのか」を写真付きでわかりやすくご紹介。毎年、県内の高校約200校に無料で配布しており、今年度は1万部の配布を予定しています。

就職を考えている生徒だけでなく、進学を考えている生徒にも地元のいろいろな会社を知ってもらうために配布しています。先生から直接手渡しをするため生徒の手に残りやすいことが特徴です。

◆ 9号の特徴

今号は、これまで以上に読者視線を意識した誌面デザインへと進化しました。写真を大きく配置することで、現場の空気感や働く人の表情がよりリアルに伝わる構成に。視覚的な情報量を高め、ページをめくるたびに「体感」できる1冊に仕上がっています。

さらに、巻頭ページには新たに「適職診断チャート」を掲載。質問に答えていくことで、自分にはどのような仕事に向いているのかを診断形式で知ることができます。将来を考え始めたばかりの人も、すでに進路を意識している人も、自分自身を見つめ直すきっかけになる内容になっています!



そして、今号の表紙テーマは「深海」。未だ多くが解明されていない深海の世界を、未知なる知識や可能性を探求する姿に重ね合わせました。まだ知らない仕事、まだ気づいていない自分の可能性。その「深さ」に触れてほしいという想いを込めて制作しました。

COURSE 9号は、千葉県内一部の書店や図書館にも配布をしていますので、見かけた方は、ぜひ一度手に取ってみてください!

制作実績

千葉県商工会議所連合会よりご依頼いただき、業界研究セミナー「キミの未来発掘図鑑」の制作を担当しました。地域企業の仕事や業界の特徴を高校生にわかりやすく届けることを目的に、誌面の構成設計からデザインまで一貫して制作。

さらにYouTubeとの連携やWebサイトページの制作も行い、冊子だけで終わらない発信設計を実現しました。地域と若者をつなぐ取り組みをトータルで支援しています。



スタッフの作品

作品タイトルは「春近し」。

厳しい寒さの中でも、静かに春を待つ木々の姿を描いた一作です。凍てつく空気に包まれながらも、大地に根を張り、じっと季節の巡りを待つその佇まいには、確かな強さが宿っています。制作にあたって特に苦労したのは、厳冬に耐えながらも生き続ける木々の力強さをどう表現するかという点でした。ただ寒々しい風景として描くのではなく、内に秘めた生命力や、やがて訪れる春への気配をにじませることに向き合いながら、一本一本の枝に想いを込めて筆を重ねています。

本作に込められているのは「冬は必ず春となる」という想いです。どれほど厳しい時間の中にあっても、その先には必ず光が差す瞬間がある。静かな風景の中に漂うのは、凜とした空気とともに、確かな希望の気配。観る人それぞれの経験や心情と重なり合いながら、生きる力と春への期待をそっと呼び起こします。

足を止めて見つめるほどに、冷たい季節の奥にある温もりが感じられる。そんな余韻を残す作品となっています。



佐藤 均 油絵